

【境谷小学校】令和4年度前期学校評価アンケート結果

○目指す子ども像(洛西中学校ブロック)『夢の実現に向けて、共に楽しく学び、たくましく伸びていく子の育成』

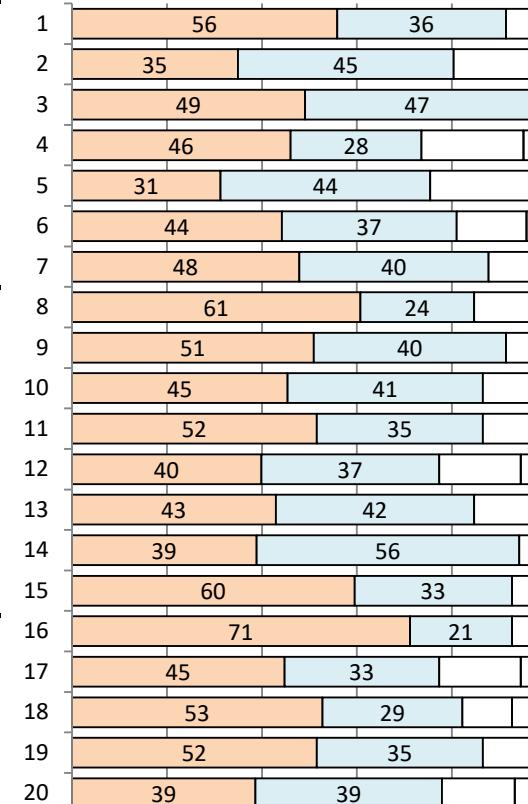
重点目標(児童生徒の共通する課題より)
(1) コミュニケーション能力を育成するための“言語活動”を充実する～つながる・深める・伝え合う～
(2) 児童生徒が主体的に活躍できる場面を設定し、自己肯定感や自己有用感を高める。

○境谷小学校めざす子ども像

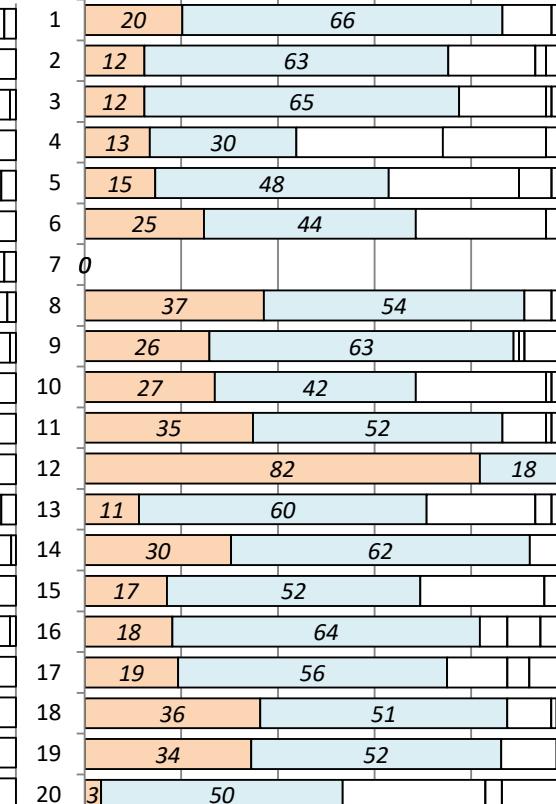
『素直な心で 人とつながり より良い未来を切り拓く 境谷の子』～自愛と友愛に満ちた子の育成～ 1. 粘り強く挑戦する子 2. 自分も友だちも大切にする子 3. いのち・健康を守る子

質問項目	
確かな学力	① 学校の勉強はわかりますか。
	② 自分の意見や考えを話すことができていますか。
	③ 人の意見や考えをしっかりきくことができていますか。
	④ 進んで本を読むことができていますか。
	⑤ 毎日、忘れ物をせずに、学習の準備をすることができていますか。
	⑥ 毎日、家庭学習をすることができていますか。
	⑦ 授業や学校生活の中がんばったことを、先生はほめますか。(児童のみ)
豊かな心・健やかな体	⑧ 学校に楽しからうことができていますか。
	⑨ 学校では、先生や友だちから大切にされていると思いますか。
	⑩ 地域の人、先生たち、友だちに進んで気持ちのよいあいさつができるですか。
	⑪ 早寝・早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりしていますか。
	⑫ 自分にはよいところがあると思いますか。
	⑬ 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか。
	⑭ 学校のきまりや約束を守ることができますか。
学校・家庭・地域の連携	⑮ 自分から進んでそじや係活動ができるですか(高:掃除や係活動、委員会活動ができるですか)
	⑯ 学校からのおたよりをお家の人に見せていますか。
	⑰ わからないことや、困っていることを先生に相談することができますか。
	⑱ お家の人に、学校でのできごとを話していますか。
	⑲ お家人や地域の人からほめられることがありますか。
	⑳ 地域の人との交流(おはなし会・少年補導の行事)やゲストティーチャーとの交流、PTA行事を楽しみにしていますか。

児童



保護者・学校運営協議会



	そう思う		大体そう思う		あまり		思わない		分からない	
	児童	大人	児童	大人	児童	大人	児童	大人	児童	大人
①	56	20	36	66	6	10	2	0	0	3
②	35	12	45	63	16	18	4	2	0	4
③	49	12	47	65	2	18	1	1	0	3
④	46	13	28	30	21	30	5	21	0	4
⑤	31	15	44	48	21	27	3	7	0	3
⑥	44	25	37	44	15	27	4	0	0	4
⑦	48	####	40	####	10	####	2	####	0	####
⑧	61	37	24	54	13	6	2	2	0	1
⑨	51	26	40	63	7	1	1	1	0	9
⑩	45	27	41	42	10	27	4	1	0	3
⑪	52	35	35	52	10	9	4	1	0	3
⑫	40	82	37	18	17	0	6	0	0	0
⑬	43	11	42	60	12	22	3	3	0	3
⑭	39	30	56	62	5	7	0	1	0	0
⑮	60	17	33	52	7	26	0	5	0	0
⑯	71	18	21	64	6	6	1	7	0	6
⑰	45	19	33	56	17	13	6	5	0	8
⑱	53	36	29	51	10	9	7	1	0	2
⑲	52	34	35	52	10	11	4	0	0	2
⑳	39	3	39	50	15	30	7	3	0	14

*単位は%

「確かな学力」(アンケート番号①~⑦)

・昨年度後期の学校評価アンケートと比較し、全体として肯定的な数値が高くなっています。さらなる向上に向け、以下のことに重点を置いて取組を進めます。

<1>上質な授業の展開

☆①の質問では、子どもたちの92%が「そう思う」「大体そう思う」を回答しています。今年度は学年を超えた教科担任制や、個別最適な習熟度別学習を実施しています。その結果、子どもたちによりわかる授業を実施することができます。専門性の高い授業と個に応じた指導の充実を図り、今後も引き続き、上質な授業を展開していきます。

<2>授業中の話す・聞く力のさらなる向上

☆②③の質問では、「そう思う」「大体そう思う」を回答した子どもの割合がそれぞれ80%、96%となっており、いずれも昨年度後期の学校評価アンケートよりも高い数値を示しています。子どもたちは授業中に自分の意見を話したりともだちの意見に耳を傾けたりしている感じているようです。保護者の方の数値も、昨年度後期よりも高くなっています。話す・聞くといった視点で見たときに、意見を話すことが聞くことよりも数値が低くなっています。友達の意見に耳を傾けるだけでなく、しっかりと自分の意見を述べることができます。授業でも様々な機会を設けて指導していきます。

<3>読書習慣の定着

☆子どもたちに読書の習慣化が十分図れていない様子がうかがえます。確かな学力の項目では、子ども・保護者ともに肯定的な数値が最も低くなっています。学校では読書タイムを設けたり、読書週間の取組を行ったり、子どもたちの読書習慣の定着に向けた取り組みを行っています。ご家庭ではテレビやゲームをする時間もあると思います。それと同じように、読書をする時間を一緒に設けるなどし、子どもたちの読書習慣の確立を進めていただけたらと思います。

「豊かな心・健やかな体」(アンケート番号⑧~⑯)

・昨年度後期の学校評価アンケートと比較し、全体として肯定的な数値が高くなっています。この結果を精査し、以下のことに重点を置いて取り組みを進めます。

<1>愛にあふれた境谷小学校

☆⑨の質問では、子どもたちの91%が「そう思う」「大体そう思う」を回答しており、7ポイントの数値の上昇が見られます。低・中・高のいずれの学年でも数値が上昇しており、子どもたち同士の関わりや様々な教員との関わりの中で、自分が大切にされていると実感していることが分かります。担任のみならず様々な立場の教職員が積極的に関わることで、子どもたちが大切にされていると実感できるよう、さらに愛を注いでいきます。

<2>自己肯定感の高まり

☆⑫の質問では、保護者の「そう思う」「大体そう思う」の回答が100%であるのに対し、子どもの回答は80%に届いていません。子どもたちの自己肯定感が低い様相がうかがえます。子どもたちが学校で大切にされていることが伝わっているのは、⑨の質問結果からでも見られます。さらに子どもたちに愛情を注ぎ、ほめる場面をみつけ、子どもたちの自己肯定感をより高め、⑬の数値の向上にもつなげていきたいと思います。ご家庭でも同様の良さを見つけてほめてあげてください。

<3>きまりを守る

☆⑭の質問では95%の子どもたちが守れていると回答しており、きまりを守っている自覚が高い様子がうかがえます。一方、⑤や⑥の回答の数値や子どもたちの様子から、きまりを守り切れていない様子もうかがえます。忘れ物をすることも、持ち物のきまりを守っていないことにつながってきます。きまりを守ることは、みんなが気持ちよく過ごすためにとても大切です。そのためきまりを守ることに対する意識を高め、当たり前のことを当たり前に行うことができるよう指導を続けていきます。

「学校・家庭・地域との連携」(アンケート番号⑯~⑳)

・学校・家庭・地域の連携を図り、「開かれた学校づくりに対してご理解いただき、ありがとうございます。これまで新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、様々な行事が中止・延期となることがありましたが、withコロナの中で様々な活動を再開・実施してまいりました。今後も学校・家庭・地域が連携して活動していきたいと考えております。

<1>学校の情報発信

☆⑯の質問では、80%以上の保護者・地域の方から学校の様子が伝わっていると回答をいただいております。また、90%以上の子どもたちもおたよりを見せていましたと回答しています。昨年度後期の学校評価アンケートと比較すると、子どもも保護者も「そう思う」「大体そう思う」を回答した割合が高まっています。⑮の質問からも、子どもたちがご家庭で学校の話をしている様子がうかがえます。今後も子どもたちと学校の出来事についてぜひご家庭で話題にしていただけたらと思います。一方、普段の学校の様子がわからない、といったご意見もいただいております。より詳しく学校での子どもたちの様子が伝わるよう、学級だよりをはじめ、学校だよりやHP、メール配信など、様々な場面や媒体を通じて学校の様子を今後も発信してまいります。

<2>悩みや困りの相談

☆⑰の質問では、昨年度後期の学校評価アンケートと比較すると、子どもたちの「そう思う」の割合は9ポイント増加しています。子どもたちにとって学校が悩みや困りを相談しやすい場所となってきたと答えることができます。一方、保護者の「そう思う」「大体そう思う」の割合